

セツ Karton の通信販売向け 段ボールの取組み

セツ Karton 株式会社

理事 営業推進部長 落 合 政 夫

M. Ochiai

伊丹工場 営業部 包装開発課 課長 木野元 朝 幸

T. Kinomoto

新東京工場 営業部 包装開発課 大 川 姫香瑠

H. Okawa

Corrugated Packaging Initiatives for ecommerce Developed by SETTSU CARTON

We Settsu Carton Corporation are a comprehensive packaging manufacturer specializing in corrugated packaging and have been developing our business according to the new lifestyles with Covid-19. Along with the increasing demands of eCommerce and corrugated cardboard associated with it, our company is committed to reducing the weight of corrugated packaging and minimizing greenhouse gas emissions. In addition, we have proposed innovative designs for corrugated fiberboard cases to convey information to consumers and promote sales as the new role of corrugated fiberboards. We have also developed rack cases for storing and sorting products in eCommerce distribution warehouses as an alternative to plastic containers. We are committed to improving people's lives and livelihoods to achieve our mission as a company contributing to society by presenting these proposals.

はじめに

私どもセツ Karton 株式会社は旧セツ 株式会社の段ボール部門を継承して設立以来、段ボールを中心とした総合パッケージメーカーとして事業活動を営んできた。

世界的な2019年からのパンデミックに翻弄されながらもウイズコロナの新たな生活様式を取り入れながら事業を進めている。環境面ではSDGsをはじめとする取組みが各企業で重要になっている。

物流における段ボールの役割として中身の保護、簡便化がある。eコマース（以下、EC）の普及により物流における段ボールの使用量

も増加し、当社も段ボールの軽量化、輸送効率化による温室効果ガス排出量を減らす取組みを顧客と共に検討している。また物流における2024年問題にて、即日配送が当たり前である中「モノ」が運べない状況になっている。包装材として段ボールの適正寸法化で物流の効率化を基に時代のニーズに合った提案を常に考えている。

また包装材として段ボールのもう一つの役割である、消費者に対しての情報の提供、販売の促進がある。消費者が商品について欲しい情報、購買意欲の湧くデザインについてもより良いデザインを提案している。特に EC



図 1

においては「B to C」も多く必要な情報だけでなく、購買意欲が湧くデザインが必要である。環境にも配慮しながらその商品に必要なデザイン提案に取り組んでいる。

さらに段ボールは廃棄が簡単でリサイクルが可能であることから、運ぶためのものだけでなく、樹脂製容器からの代替品としても利用されている。物流倉庫での商品の保管・仕分けのラックケースとして、運ぶための包装ではない用途にも提案している。

私たちは“豊かな明日のために”この「古くて新しい素材」段ボールをさらに研究し、広く社会に貢献できる企業として皆様の暮らしや生活にお役に立てるよう努めている。

今回は、通信販売（以下、通販）向け段ボールのデザイン提案と物流倉庫での商品保管・仕分け用ラックケース提案の取組みについて紹介したい。

1. 通販用段ボールケースのデザイン提案

1.1 デザイン提案事例

株式会社ベルーナより通販用段ボールケースの夏期限定デザインをご依頼いただいた際の事例を紹介する。商品を手にした消費者のワクワク感を高められるようなデザインを提

案し、採用いただいた。

レディースファッションを中心とした総合通販であるため、「仕事や家事をしているかわいいものやおしゃれ好きな女性」をターゲットとして意識し、公式キャラクターの「べるーにゃ」、「リュリュらび」のかわいらしさを活かした夏らしいデザインを複数点作成した（図1）。

昨今のSNSの普及により、消費者が簡単に広告塔になれる時代である。思わずシェアしたくなるような、分かりやすくてかわいいデザインが求められると考え、「ひまわり畑」、「夏祭り」など、多くの方にとって夏らしさの共通認識があり伝わりやすいモチーフにした。

提案の結果、「海で遊ぶべるーにゃとリュリュらび」のデザインが採用となり、実際に「かわいい箱が届いた！」とSNSにアップする人もいた。配送箱である段ボールケースを楽しみに商品を待つことはほとんどないが、だからこそ段ボールケースの印刷デザインは消費者にとって意外性があり、印象アップにつながると考える。

また、今回のデザイン提案は社内でも評価を受け、社内の包装コンテストで金賞を受賞することができた。

1.2 インクジェットサンプル・3DCGの活用



写真1

当社では印刷入りのケースの量産前に、インクジェットプリンターを用いた印刷入りサンプルや3DCG（写真1）でデザインの確認が可能である。版下のみでの確認では組み立てた際のイメージが湧きづらく、組み立てが複雑なケースでは表面に出したい事項が隠れてしまうといったトラブルも起こりやすい。あらかじめ印刷入りの実物に近いものを確認することで、トラブルを未然に防ぐことができる。

1.3 デザインにおける環境への配慮

全国段ボール工業組合連合会は全日本紙器段ボール箱工業組合連合会や印刷インキ工業会と一体となり、環境負荷軽減の取り組みとして2024年4月1日までに補正色や特練のインキを標準色へ集約する活動を開始し、段ボール業界全体にインキ集約を要請している。現在は版替の度に行われるインキ洗浄や不要になった標準色以外のインキの廃棄など、環境負荷増の原因となることが常態化しており、集約することで廃棄ロスインキの軽減や二酸化炭素排出量削減が期待される。

製造面でも、少ない種類のインキで済む方が管理しやすく効率が良い。当社は工場でのデザインを作成しているため、あらかじめ生産しやすさなども考慮し、ロスが出にくく環境にやさしいデザインを提案可能である。

またリサイクルマーク、FSC認証マークなどの印刷は消費者の安心にも繋がる。当社はFSC



写真2

COC認証を取得しているため対応可能である。

安全に中身を輸送することが主であった段ボールケースに、デザインという付加価値が加わることで、リピーターの増加やブランド力の向上に繋がり、ECがより促進される可能性がある。段ボールケースのデザインが私たちの暮らしを豊かにする社会変化に繋がれば幸いである。

2. 通販倉庫向けラックケースの提案

2.1 提案の経緯

通販の配送用段ボールの他、倉庫での商品保管・仕分け用ラックケースの提案をしている。

通販会社から商品が少なくなると、空きスペースが発生し、空きスペースに他の商品を置くなど有効活用したいとのご要望をいただいた（写真2）。

そこで、ラックケースに移動可能な専用仕切りを提案し（以下、移動仕切り付きラックケース）、商品量に合わせて仕切りを移動させ、空きスペースの活用を図った。商品が少なくなった場合、商品量に合わせて仕切りを移動させ、空いたスペースに他の商品を置くことができる（写真3～5）。

保管ラックのサイズに合わせて数種類のサイズをそろえた。

新設された通販の流通センターで採用され、当社の仕様に統一していただいている。



写真3



写真4



写真5

また昨年の当社内の包装コンテストでも提案内容が評価され、銅賞を受賞した。

2.2 移動仕切り付きラックケースの仕様

(1) 材質

段ボールの材質はLB170×MC120×LB170 B/Fとし、厚みが薄く（3mm）組立てしやすさを図った。

(2) 形状

形状はJIS Z 1507の0422（図2）を基本とし、ケース前面から商品を取り出しやすくした（写真6）。

移動仕切りは、センター部をハーフカット（写真7）とし、ハーフカットを折り曲げて仕切りを形成し（写真8上）、ロックをする（写真8下）。仕切りの両端をリード罫線に沿って折り曲げ、ケース内で仕切りが自立する様にしている（写真9）。仕切りの自立については、ユーザーに複数案を提案し、サンプルケース

(505)



写真6



写真7

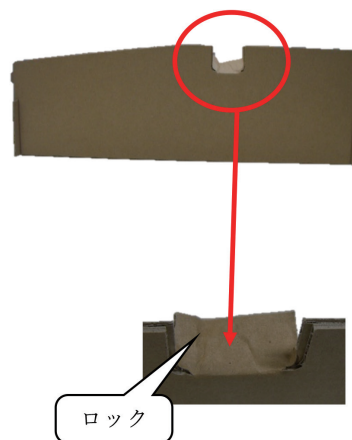


写真8

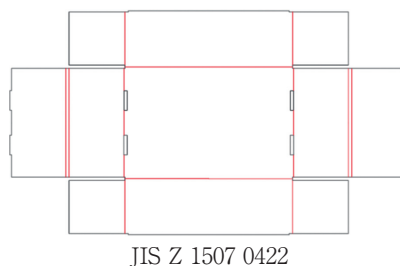


図2

で確認の上、最適な形状を採用いただいた。

2.3 他のラックケースについて

別案件で移動式ではないが、保管ラック内を仕切るため形状提案を行い、採用された（図3）。

倉庫やラックの形状に合わせて、組み立て

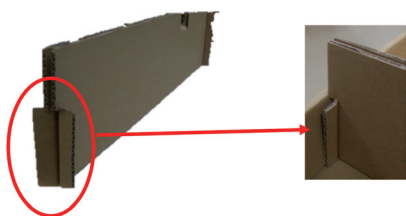


写真9

が簡単で軽くて使いやすい、また使用後の廃棄も簡単な段ボール製ラックケースや仕切りの提案を積極的に行っている。

さいごに

EC など社会や生活の変化に伴い、セツカートンも新しい生活や仕事に合わせた段ボールや包装資材の提案に積極的に取り組んでいる。

通販の配送用段ボールのデザインや倉庫内のラックケースの提案を機に、さまざまな別

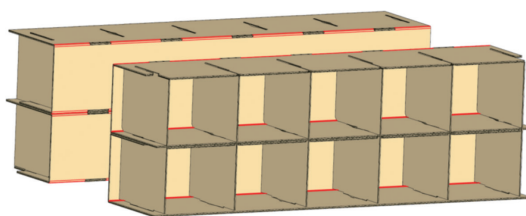


図3

用途の提案にも繋がっている。ポストインサイズのケース、自動製箱機に最適な形状をしたケース、配送中の危険物転倒防止などさまざまな案件をいただき、改善策を提案している。提案を通じて、商品の発送・配送・受け取り、すべての人々にとって安全・効率的・快適となる包装開発に取り組む所存である。

社会の変化に対応した包装を開発・製造し、「心」までも包むパッケージメーカーとして「モノ」にも、そして「ヒト」にも優しい豊かな明日を創っていききたい。

信頼と責任に応える企業姿勢 “豊かな明日のために”

セツカートン株式会社は、段ボールを中心とした総合パッケージメーカーとしての技術力を生かし、生産から販売にいたる一貫体制のもと、お客様のニーズに合わせ、一つひとつの製品に最適なパッケージングをご提案してまいります。

“心”までも包む、
パッケージメーカーとして。



本 社 〒664-0845 兵庫県伊丹市東有岡五丁目33番地
TEL: 072-784-6001 FAX: 072-784-6688

東京本社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス 7F
TEL: 03-4376-7000 FAX: 03-4376-7001

既成概念を超える段ボールの「無限の可能性」
SETTSU CARTON
セツカートン株式会社

Webサイト

